

# IRD シリーズ

## Intelligent Remote Device

スレーブ

# IRDS-LV

## 差動トランス入力モジュール

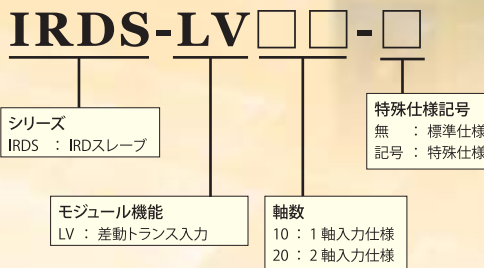
本モジュールは、IRDシリーズの差動トランス(LVDT)入力モジュールです。差動トランスの励磁、信号受信、A/D変換およびフィルタリングを本モジュールで実施します。各軸の位置データは、産業用ネットワークに出力したり、他のスレーブ機器に転送してデジタル/アナログ出力ができます。



### 特長

- 適合センサ：5線式、6線式差動トランス  
または4線式差動トランス（ただし精度は低下する）  
2次信号 A/B 間 差動電圧 1.5Vrms / FS 以下  
2次信号 A-CT 間および B-CT 間電圧 7Vrms/FS 以下
- 励磁周波数および励磁電圧の設定  
専用ソフトウェア（IRD Manager）または PLC の通信により任意設定が可能。
- スケール機能  
ユーザの希望するフルスケール値へスケール変換が可能。
- 同期励磁機能  
複数の IRDS-LV にて全く同一の周波数で励磁することが可能。
- 上下限リミット設定機能
- プリセット機能
- 自己診断機能：内部パラメータ保存異常、励磁異常、  
センサ出力信号断線 / 誤配線検出
- RoHS 指令対応

### 型式



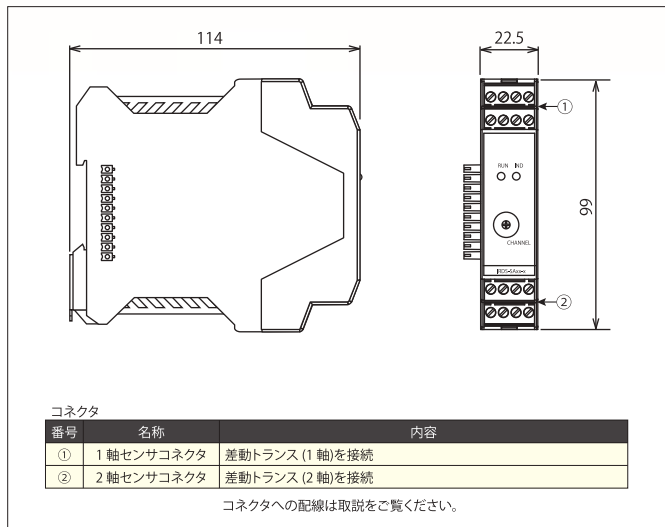
### 入出力バイトと消費メモリブロック

モジュールシリーズ	消費メモリブロック	入力バイト数	出力バイト数
IRDS-LVシリーズ	4	16	16

### 性能仕様

項目	IRDS-LV10	IRDS-LV20	
差動トランス入力	計測軸数	1軸	2軸
	適合差動トランス	5線式または6線式差動トランス 4線式差動トランス（ただし精度は低下する）	
	励磁周波数	2k~5kHz (0.1kHz単位で設定可能)	
	励磁電圧	1.0 ~ 5.5 Vrms (0.1Vrms 単位で設定可能)	
	最大入力電圧	差動3.5 Vrms FS (A-CTおよびB-CT電圧:7Vrms/FS以下)	
	入力抵抗	100kΩ	
	整流方式	同期整流	
	応答性	励磁周期(=1/励磁周波数)ごとの更新	
	非線形性	±0.03%以下	
	温度特性	ゲインドリフト:100ppm/°C以下 ゼロドリフト:10ppm/°C以下	
絶縁	仕様	内部回路は電源に対して絶縁 耐電圧500VAC 1分間	
電源	定格	DC24V (±10%) 140mA (IRDバスから供給)	

### 外形寸法図



It makes Technological Sense

製造販売元



**サンテスト株式会社**

<https://www.santest.co.jp>

本 社 〒554-8691 大阪市此花区島屋4丁目2番51号  
TEL 06-6465-5561 FAX 06-6465-5921  
東京営業所 〒105-0012 東京都港区芝大門1-16-4 第二高山ビル2F  
TEL 03-3432-1417 FAX 03-3432-1337